

仕 様 書

1 概 要

- (1) 需要場所 千曲川流域下水道上流処理区終末処理場
長野市真島町川合 1060-1
- (2) 用 途 官公所（下水終末処理場）

2 仕 様

(1) 電力供給条件

- ア 供給電気方式 交流 3 相 3 線方式
- イ 標準電圧 6,000 V
- ウ 計量電圧 6,000 V
- エ 標準周波数 60Hz
- オ 受電方式 本線 1 回線受電
- カ 発電設備 有り

(2) 契約電力及び予定使用電力量

- ア 契約電力 1,950 kW
(契約上使用できる電気の最大電力をいい、30 分間最大
需要電力計により計測される需要電力が原則として
これを超えないものとする。)

- イ 契約期間中の予定使用電力量
12,849,000 kWh

(3) 契約期間 令和6年4月1日 0 時 から 令和7年3月31日 24 時 まで

(4) 電力量の検針

- ア 自動検針装置 有
- イ 電力会社の検針方法 自動検針

(5) 需給地点 終末処理場上流処理区 場内第 1 柱

(6) 保安責任分界点 上記柱上 PAS 電源側接続点

(7) 財産分界点 保安責任分界点と同じ

3 力率等

(1) 力率は、その一月の午前8時から午後10時までの時間における平均力率とする。

単位は % とし、小数点以下第一位を四捨五入する。(瞬間力率が進み力率となる場合には、その瞬間力率は100%とする。)

平均力率の算定方式は以下のとおりとする。

$$\text{平均力率} = \frac{\text{有効電力量}}{\sqrt{(\text{有効電力量})^2 + (\text{無効電力量})^2}}$$

なお、その際の有効電力量及び無効電力量は、それぞれキロワット時、キロバール時とし、その端数は小数点以下第一位で四捨五入するものとする。

(2) 契約期間中の予定平均力率は100%とする。

(3) フリッカ発生機器等、電気の質に影響を与えるような負荷設備は特にない。

4 安定供給等

供給開始日から確実に安定した供給ができるようにするとともに、事故発生時等に緊急対応が可能な体制を確保していること。

5 その他

(1) 力率の変動及びその他の原因による電気料金の調整及び仕様書に定めのないその他の供給条件については、中部地区の一般送配電事業者の定める最新の託送供給約款による。

(2) 使用電力量は、翌月の営業開始日にホームページ等で確認可能とするほか、30分デマンド電力量をエクセル形式又はCSV形式のファイルで提供すること。

6 添付資料

(1) 契約期間の各月予定使用電力量

(2) 令和4年度 月別使用電力量実績

(3) 令和4年度 各月最大負荷日の電力量曲線

(4) 令和4年度 各曜日最大負荷日の電力量曲線